

「平成28年熊本地震」への
災害義援金の受け付けを開始しました

4月14日の21時26分に発生した熊本県熊本地方を震源とする「平成28年熊本地震」は、マグニチュード6.5、最大震度7を記録。その後も震度6クラス以上の地震が相次ぎました。

4月16日には、本震とみられるマグニチュード7.3、最大震度6強の地震が発生し、4月19日現在、震度1以上の地震は、600回以上も発生しています。

ます。また、多くの尊い命が失われ、負傷者も多数と、人的な被害も増える一方です。

家屋の倒壊、交通網の寸断、停電、断水、土砂災害など、被災規模は日を追うごとに拡大しており、一刻も早い地震の終息と災害復旧が望まれています。

市では、次のおり災害義援金を受け付けています。皆さんのご協力をお願いします。

「平成28年熊本地震」災害義援金受け付け

受付期間 4月15日(金)～6月30日(木)

受付場所 市民課、各総合支所市民福祉課、各基幹公民館、社会福祉課 ☎6012



被災地支援のため大崎市民病院からDMATが派遣されました

4月16日～20日、厚生労働省の要請を受け、大崎市民病院から医師1人、看護師2人、診療放射線技師1人、薬剤師1人からなるDMATが被災地に派遣されました。DMATは、災害急性期に活動する機動性を備え、トレーニングを受けた医療チームのことで、現地では、本市と交流がある大分県竹田市周辺の医療機関で、支援活動などに当たりました。

姉妹都市ダブリン市の学生たちが
大崎市の文化を学びました

4月4日から8日まで、姉妹都市アメリカ合衆国ジョージア州ダブリン市から高校生9人を含む男女13人が大崎市を訪れました。

滞在中は、岩出山地域でよりの試着、鳴子温泉地域でこけしの絵付け体験、三本木ひまわり園で園児との交流、古川地域と三本木地域でのホームステイなど、大崎市の観光・文化を体験しました。



1週間同じ時間を過ごした学生とホームステイ先の家族。抱き合い再開を約束していました

学生たちは、「朝ごはんを家族と一緒に食べる文化が体験できてよかった」「新しい友人と家族ができた。たくさん撮った写真はわたしの宝物」と語っていました。また、ホームステイ先の子どもたちは、「今度は自分がダブリン市に行ってみよう」と語っていました。

言葉が通じなくても、心が通い合う交流となりました。



プレゼントされた浴衣を着て一緒に記念撮影。日本の文化に触れてもらう「おもてなし」です

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



古川発

市誕生10周年を記念して桜を植樹

4月2日、化女沼湖畔で大崎市の10周年記念冠事業第1号となる「大崎市誕生10周年記念桜植樹式」が行われ、参加した70人の皆さんが50本の桜の苗木を植樹しました。

植樹したのは「花笠」という八重桜で、ソメイヨシノが散った後に咲く、やや遅咲きの桜です。花の色は濃く、傘状に枝を広げ樹高8m程に成長します。

主催した化女沼2000本桜の会の佐々木哲郎会長は「桜の成長と共に、大崎市も発展してほしい」と語っていました。



▲「大きく育つように」と願いながら、一本一本丁寧に植樹していました

岩出山発

にぎわいある城山へ復活の第一歩

4月16日、「城山公園さくら復活プロジェクト～未来のためのお花見～岩出山さくら祭り」が、岩出山地域の城山公園で開催されました。例年の倍以上の人出で、いつもは閑静な公園に賑やかさがあふれました。

岩出山地域のにぎわい創出のため城山公園を核にした地域づくりを行おうと、次代を担う若手の皆さんが中心となって約9カ月間、話し合いや準備を重ねてきました。

オープニングセレモニーとして行われた桜の植樹式で、プロジェクト代表の早坂正年さんは「最終的に臥牛城を建てるのが目標。今日ようやく1本の桜が植樹できた。この植樹式に立ち会った皆さんが、誇りに思えるプロジェクトにしていきたい」と思いのたけを話していました。



▲城山公園のシンボル政宗公平和像の台座に投影された、プロジェクションマッピング

鹿島台発

107年続く伝統の市 鹿島台互市

4月10日～12日、鹿島台互市が開催され、約8万人の人々が鹿島台地域を訪れました。

鹿島台互市は、明治43年に当時の鎌田三之助鹿島台村長が、村で生産した農作物や加工品と、村外の物産を互いに売り買いするための市として開設しました。現在では、東北最大の互市として200店を超える露店が立ち並びます。

普段は閑静な小路に人波がで、露店からの元気な声飛び交う活気に満ちたさまは、鹿島台地域の長年に渡る伝統と文化を感じさせます。



▲道路を埋め尽くすほどの人出がある東北最大級の互市「鹿島台互市」。店主との会話や情報交換も魅力のひとつです



2016 4月の主な出来事

26日	●旧有備館および庭園リニューアルオープン
25日	●旧有備館および庭園災害復旧落成式
17日	●大崎市誕生10周年記念まつりや桜まつり
16日	●被災地に向け大崎市民病院DMATを派遣
14日	●平成28年熊本地震発生
11日	●市立小学校入学式
10日	●第212回鹿島台互市(10日まで)
8日	●市立中学校入学式 ●加護坊桜まつり(6月5日まで)
6日	●春の交通安全県民総ぐるみ運動街頭キャンペーン(15日まで)
4日	●姉妹都市アメリカ合衆国ダブリン市学生受入事業(8日まで)
1日	●松山子育て支援総合施設あおぞら園開園



▲街頭キャンペーンで通勤中のドライバーに交通安全を呼びかけました